

しのばず自然観察会より 2023-08 2023.08.01

2023年8月の活動 不忍池 定点観察



集合：2023年8月13日（日）

午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、
湯島天神下交差点寄り）

今回は雨天中止

持物：筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨
具、マスク（敷物、昼食、日
傘、団扇）

解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚

3年連続で、今年も6月12日前後に不忍池のハスが咲き始めましたが、その後の開花はゆっくりというか、少なめというか、8月の観察会でも蓮の花が見られそうです。暑さ対策をして、ご参加ください。

2023年 7月9日の不忍池観察記録

7月の定例観察会は9日（日）、雨の天気予報もあるなか、12名の参加で行われました。朝の内は雲が多く直射日光が時たまという外歩きにはまあまあの陽気でしたが、日中の東京都心の最高気温は33.0℃に達し、途中の休み時間が多くなりました。

ハスの花は昨年、一昨年に比べると少なく、見ごろはまだ先の様子でした。ハスの葉が蓮池をすっかり覆い水面が見えず、水鳥はほとんど確認できませんでした。それでも、アオサギ、カルガモなどが飛んで、存在をアピールしているかのようでした。



ウチワヤンマ



チョウトンボ



ガマ（コガマ?）

鳥：カルガモ、カワウ、アオサギ、ゴイサギ、コサギ、ハシブトガラス、シジュウカ

ラ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ドバト、キジバト、ツバメ

昆虫：オニヤンマ、ウチワヤンマ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、チョウトンボ、アゲハ、アオスジアゲハ

爬虫類：アオダイショウ、アカミミガメ、クサガメ

植物（草本・低木 ほとんどが外来種・導入種）：ノゲシ、ハルジオン、雑種タンポポ、ヘビイチゴ、カタバミ、ムラサキカタバミ、ヘラオオバコ、ワルナスビ、ハンゲショウ、ギンギシの仲間、シモツケ、ハス、ミソハギ、ガマ（コガマ?）、ジュズダマ、チドメグサ、他にイネ科2～3種類。園芸種では、タチアオイ、アジサイ、アベリア、桃色花のキョウチクトウ、ヒメヒオウギズイセン



ハス



カワウの若鳥（目がうまく開かないようです）

2023年 9月の不忍池定点観察会は10日（日）の予定です

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔方
1975年創立 電話03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円

2022年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ

2023年7月9日の活動

小川千恵子

バス停から公園に入る。9:24。眼前をコサギがボート池北側から南まで飛び、蓮池の南縁を東の先まで行き、下町風俗資料館辺りで下に降り、姿が見えなくなる。

ハンノキの北側は、ヘラオオバコ、シロツメクサがあり、他の草丈もふつうだが、南の草は刈られたのか丈が低い。ボート池を大きなトンボ（オニヤンマ？）がゆっくり南方向へ。チョウトンボもいる。アゲハが舞う。コシアキトンボ、ウチワヤンマと次々と！！今日はトンボ日和りかも。

ハンノキの南にあるソメイヨシノの周りだけ草丈が低い。ガンジン像の北、アキニレの日陰部分は草が少ない。陽の当たるところは草丈が高い。ということは上述のところも刈られてはいないのか？あとでTKさんが見て、葉が茶色になっているから除草剤かと。イネ科の葉が多い。チガヤ？

北西の風が強い。カワウが水の上を南へ飛ぶ。像と鳥モニュメントの間の桜カンザン2本の南に花が咲いたシロツメクサの群落。モニュメントの南に地べたにくっつくように丸っこい葉が広がる。（5月にドクダミ？と書いたが、チドメグサとTKさん）

石垣の北、ヘビイチゴの葉。オオバコがきれい。池水面をウチワヤンマ2匹が追いかけてっこ？

濃いピンクのタチアオイ。5月より背が高い。上の方には花芽があり、下の方には実がついているのに花芽もある。いつまで咲くのか？淡いピンクの10本。

池中の鉢の中にガマの穂が立つ。隣のハンゲショウの葉がほんの少し白い。ピンクの花は何？（あとからTKさんにミソハギと。）クロアゲハが池から西へ飛ぶ。岸にユウゲショウの花一輪。コシアキトンボ。桜カンザン横に背の低い赤いタチアオイと黄色いカタバミ。チチヨグサ？

ボート池南のひっくり返したボートの上には巨大なアカミミガメ2匹とクサガメ1匹。大きなソメイヨシノの下は、草が無い。

集合地から

蓮の花は池縁、立っている所からすると、池手前側に多い気がする。蕾も実になったハチスもある。時々吹く強い風に、奥の方の葉の一部が裏返されて白く見える。

3月にスノーフレイクのあった所は今回は背の高い黄色の花のカンナ群と下には菊の葉群。横に一日花のヤブカンゾウ。花が先っぽから下へ咲いて行くヒメヒオウギズイセン。葉が重なるように伸び、花がオレンジからピンクに変わるヤブガラシ、とTKさんから。ヤブガラシはSさん提供の本によると「つるの出かたが2節出では1節でない。自然界の妙趣にご注目」とある。次回に確かめよう。

音楽堂横の薄桃色の花をつけるキョウチクトウは咲き始めている。シマサルスベリのツルツルでこぼこの幹は白いが、原産地、奄美・宮古島等では黒い、とTKさん。

昨年11月20日から水上音楽堂は巨大な堀に囲まれていたが、全部取り除かれた。10

月9日に落羽松かメタセコイヤかと話題になった樹はちょっと見ても見つからず。次回確認。

蓮池南からはり出した浮き橋の入り口左の水の中の筏に小さいガマの穂。花茎の先っぽに炎のついたろうそく様の形をした穂があり、ろうそく本体部分が雌花。炎の部分が雄花、とKOさん。

KOさんからの蓮の話

蓮の開花初日から3日目までは、朝早くに開花し11時頃ピークで、夕方5時にはすっかり閉じてしまう。(1時間毎に撮影した写真をみせてもらう)4日目は開いても閉じず、その後花びらを落としていく。開花初日は花粉は飛ばず、2日目から飛び、4日目はもう飛ばない。花の真中の大きい薄緑色の丸いのが花托で、そこに点々とあいている穴のように見えるのが雌しべで、花托のつけ根の周囲一带に出ているオレンジ色のものが雄しべ。(ちょうど花びらが散って花托にしっかり雄しべがくっついた状態というのを見つけたTGさんがスマホでパシャリ!)KOさんから上述のことを聞いていると横に中国人らしい婦人がいて、少し話す。できた実を植えると芽が出て来るかと質問され、私もききたいと思っていたのよと話す、先に行ったKOさんを捜すのについてくる。KOさんにきくと、実は硬くて、植えても発芽は難しい。でも硬い故に何年ももつと何う。(大賀ハスを思う)

蓮の葉の表の細胞ひとつひとつに突起がある。毛が生えているのではない。裏には無い。この突起によって雨とかの水がついても水が丸くなって(ロータス効果)くぼんだ葉の中央部にころがる。もともと葉は両側から、中央に巻いて、それを立たせた、とんがった形の芽で泥の中から出てくる。4月のお知らせに水面から出て来てからの様子を書いたが、泥の中から巻いたまま出てくる。

花が終わった花托は真すぐ立っていたのが、日を追って少しずつ傾く。90度位まで。実のところは穴になっていて、すき間があるので上向きだと雨水が入るからではないか、と。実が大きくなるとまた上を向く。風で揺れて実を遠くへ飛ばすためではないか、と。花托が90度に傾いてから10日位で中の実は大きくなっているが外側の殻は薄い状態で、この頃に、実を取り出すとまだ軟らかく一番おいしい状態、と。思わず「どうやって食べるのですか?」と訊くと、そのまま、と。一度食べてみたい。観察会では落ちている植物は拾っても良いが、葉も実も採ってはいけない。この際、公園事務所をお願いして若い蓮の実を採らせていただいてのお味見は許されないものか?

時系列に戻って

下町風俗資料館の横にできた三橋の再現を久しぶり参加のTGさんにお知らせする。横にヘクソカズラのかわいい花発見。

蓮池東側を北上する。北上するに従い、「なんだか蓮の花が少なくなってきたわね

エ」の声。弁天堂の入り口を入れて北側の動物園池の方は花が多い。

参道の端橋の南側の水面に出ている何かの1本の茎にコシアキトンボとシオカラトンボがとまる。

参道北側にある小さい藤棚の端の方には小さい房のピンクの花が何本もぶら下がっている。アレエ、ここの花ピンクだっけ？4月23日の記録を見ると藤色とある。この変化はどうなっているのか？

弁天堂南の大藤棚の南東角にあるジュズダマに花が咲いている。稲の穂のように頭がたれ下っていて、緑の実のような物の先っぽに緑のものが出来、その先にぼそぼそとした黄色い物がたれ下がっている。黄色が雄しべで、緑の実の上に1本出ている白のが雌しべとTKさん。調べてみると「枝先に約1cmの壺型の苞鞘を出し、中に小穂があり、雄性小穂は苞鞘の中にあって白い柱頭だけが外に出て、中で成熟」とある。本によると「茎の上部の葉鞘から花序を出し、花は苞葉に包まれる。果実は苞葉に包まれたまま」とある。別の本では「実の中から雄花の穂が出る詩的な草」！！

カワウの若鳥が大藤棚南西角のベンチ横にいる。喉は黄色、身体は薄茶色。少しして、強い日差しを避けたのか座っている人がいなくなったベンチの下へ。このあとどうなったのか？

弁天堂を西へ出る。橋の北、動物園池にアカミミガメ3匹。コシアキトンボが飛ぶ。



落羽松のところで12時の鐘が鳴り出す。落羽松が強い風でゴウゴウと音をたてて揺れ、風が西から吹いているらしく、鐘の音がとらえられない。

落羽松の横を北上。東側にピンクの小さい花。シモツケとTKさん。キョウチクトウはまだ咲いていない。

ボート池北側を西へ。イネ科の細い葉が多種。花と実を見ないと名はわからない、と潔。オヒシバ？イヌビエ？とTKさん。

ボート池西側を南下。朝に見たのと同じ種類のトンボが見られる。白と黒の蝶が飛ぶ。ニイニイゼミが西側のしのばず通りに面した大樹群の中からきこえる。蓮池を歩いた時にもきこえたと潔。ひとしきり鳴くと、静かになる。今朝ヒグラシの声を今年初めて聞いた、と日の出町のTKさん。

・遅れて来られた方々から緑の旗が良く見えて、すぐにわかったとのこと。いつも旗を背負って歩きましょう！遅れても大丈夫！

・5月に書いたものを見直して来るべきだったと朝バスに乗った時に後悔した。しかし2か月たつと野草はすっかり様変わり。これが自然、四季の移ろいと実感。